

## ①海外大学進学の基本ガイドと最新トレンド

### はじめに

海外大学への進学は、高校卒業後の進路が多様化する中で魅力的な選択肢のひとつです。国内に限らず、大学での学びを世界中の教育機関から選べる時代に、各国や地域の教育制度や特徴を知ることが、将来の選択肢を広げる第一歩となります。

### ① 海外進学が増えている現状

近年、日本の高校から海外大学に進学する生徒数は増加傾向にあります。海外大学では、大学で学べる専攻が細分化されている場合が多く、将来につながる専門性を早いうちから高めたい生徒にとって魅力的な選択肢となっています。

また、国や地域に強みがある分野を学びたい場合は、最先端の学修・研究に取り組むことができるメリットもあります。例えば、国際協力や国際開発に関心がある場合、伝統的に開発学（Development Studies）の分野で強みを持つイギリスに留学するという選択肢が考えられます。

実際、QS や THE など、国際的な大学評価のランキングで上位を占めている大学の多くは、アメリカ・イギリス・カナダなどの海外大学です。

### ②海外大学の種類と特徴

海外大学で広く選ばれる国々には以下の特徴があります。

- **アメリカ**：高校卒業後、4年制大学へ進学。入試はなく、書類審査（エッセイ、GPA、推薦状など）を中心とする。リベラルアーツ重視のため、専攻を柔軟に変えられるケースがある。

- **カナダ**：アメリカ同様、高校卒業後に4年制大学に進学。質の高い教育を受けながら、卒業後の現地でのキャリアや定住についても見据えることができる。治安が良い傾向にあり、多文化社会で、自然が多く、学びやすい環境である。
- **イギリス**：イングランドの場合、学部は3年で卒業できる。日本の高校卒業後は通常、大学進学準備のためのファウンデーションコースを1年間履修する必要がある。専門性が高いプログラムが多い。
- **オーストラリア**：大学は3年制。日本の高校卒業後は通常、大学進学準備のためのファウンデーションコースを1年間履修する必要がある。自然科学・環境系に大きな強みがある。多文化で学びやすい環境である。
- **ニュージーランド**：高校卒業後に大学進学が可能だが、日本の高校卒業後は通常、大学進学準備のためのファウンデーションコースを1年間履修する必要がある。治安も比較的良く、質の高い学びが得られる。
- **台湾**：比較的lowコストで、英語・中国語（台湾華語）の複数言語を学べるチャンスがある。情報工学、IT、半導体などの分野に強みがある。
- **マレーシア**：世界ランキング上位の大学が近年増加中。費用を抑えたうえで、欧米の大学と連携したプログラムを通じて欧米の学位を取得できる等など、質の高い教育を受けられる。英語で受講できるプログラムも充実している。

### ③奨学金について

入学の際に、奨学金の受給について同時に審査が行われる大学もあります。奨学金受給は狭き門ではありますが、入学前に採択される奨学金の場合、家庭の経済状況や学ぶ意欲が重視されます。また、継続の場合は入学後のGPAなどが加味されることが多いです。

奨学金を希望する場合は、採択や継続の要件を事前に確認しておく必要があります。また、日本の政府や企業、自治体などが海外進学を後押しする制度もあるので、積極的に情報収集をしましょう。

## まとめ

海外大学への進学は、ハードルが高く見えるかもしれませんが。

しかし、その一歩を踏み出すことで、世界中の人々との出会いや、自分の可能性を広げる大きなチャンスが待っています。

「世界で学ぶ」という選択肢を持つこと。それは、あなたの未来に広がる無限の可能性の扉を開くことにつながるのです。

### 【参考資料】

台湾留学の強み <https://taiwanryugaku.com/reason/>

ニュージーランド留学 <https://taiwanryugaku.com/reason/>

イギリス 開発学

<https://www.britishcouncil.jp/studyuk/options/development-international-studies>

国際協力などのサマーキャンプを実施しているNGOなど

<https://koubo.jp/article/70199>

<https://www.afs.or.jp/afscamps/>